

西郷村立小田倉小学校

教科名等：道徳

単元(題材)名：ゆかいなせんたくもの

学 年：第1学年

実施状況

児童が実際に行っている家庭でのお手伝いや学校での係活動を想起させ、活動中どんなことを考えながら取り組んでいるのか、素直な気持ちを引き出させて本題に入った。家族のために洗濯物を干している主人公の「わたし」と弟の姿、主人公が家族の洗濯物に愛情を持って接している様子など、家族のためにという視点で自分自身の姿や主人公の気持ちに共感できるようにした。授業終盤は、家庭に働きかけた「家族からのお手紙」（家庭でお手伝いをしている子どもへのメッセージ）を取り上げ、自分でできる事は進んですることや、家庭や学校のために役立つすばらしさについて感じさせることができた。



児童の感想

- ・ 女の子の気持ちがよくわかりました。私も時々ママの洗濯を手伝っているときにありがとうという気持ちが出てきます。
- ・ 授業をして、みんないろいろなお手伝いをしているんだな、と思いました。
- ・ お手伝いをやるのが大切だと思いました。
- ・ もう少しお手伝いをふやしたいと思いました。
- ・ ぼくは、洗濯物干しをしたことがなかったけれど、こんどからやりたいと思いました。

参観者の感想

- ・ みんな家でいろいろなお手伝いをしていると知り「1年生なのにすごいな」と思いました。お手伝いをすると、家族みんなが喜ぶことを知りました。今は前よりも手伝ってくれるようになりました。どんな小さなことでも、やってくれたら、「ありがとう」とたくさん伝えたいです。
- ・ 授業を通して、家族の中で助け合う気持ちや人を思いやる気持ちを学んでくれたように感じました。
- ・ お手伝いを通して、成長していくための学習でとても大切なことだと思いました。
- ・ お手伝いを継続していくことってなかなかむずかしいことだと思います。家族のためみんなのためという意識を持って親子共々何事にも取り組んでいけたらいいな、と思いました。

指導者の感想

- ・ 自ら活動している係活動やお手伝いを想起し、活動は単に楽しいからではなく家族やクラスのために行っていることを、主人公の「わたし」と共感できるような「役割演技」などを取り入れた活動を通して学ばせたことは、低学年にとってはとてもよかったと思いました。
- ・ 授業後の子どもたちの感想や保護者の方の感想を聞き、日常生活においても学習内容の深まりが見られたのだと思いました。